

特定非営利活動法人被害者支援ネットワーク佐賀VOISS会報

ボイス



Vol.12-2

No.37

2011. 11.1

VOISS・ボイスとは、Voice of Isolated Survivor, Supportの頭文字を取ったものです。孤立した被害者（自己の尊厳を回復しようとしているサバイバー）の声を尊重していききたいとする、会の原点を表した愛称です。

被害者支援活動への取り組み —臨床心理士の立場として—



佐賀県スクールカウンセラー

高木病院 心療内科

伊藤 紀子 (VOISS理事)

日頃より会員の皆様にはVOISSの活動を支援くださいますことに感謝申し上げます。今年3月の東日本大震災、台風による河川の氾濫や土砂災害と自然災害が続き、多くの方が被害に遭われました。

自然災害に限らず、事件や事故の被害者になるという突然の想定外の出来事は、それまでのすべての生活や時間を一旦停止させてしまいます。それでも流れる時間は一緒に止まってくれることなく進んで行き、被害に遭われた方たちも生きていく以上、社会や世界を流れる時間の中に置かれてしまいます。

日本臨床心理士会は1999年に被害者支援専門委員を立ち上げました。以来、被害者支援研修会において「犯罪被害」「児童虐待」「災害被害」等の分科会が企画されるようになり、毎年多くの臨床心理士が参加し今日に至っております。

また、佐賀県臨床心理士会におきましては、専門部会の中に「被害者支援・学校緊急支援部会」を設け、県内で発生した事件や事故、災害等で被害に遭われた方への支援活動に関係機関と連携しながら従事させて頂いております。

被害に遭われた方々には「～年経った」「事件は解決した」といった実際の社会的時間とは別に、決して過ぎ去ったこととして扱われることのできない、その方自身の特別な時間が流れています。

個人の中で流れている時間を大切にしながら社会的時間に合わせ過ぎることなく、その方に流れている時間の中で歩みを進められるよう、そしてその時間の中で一人になってしまわれることのないように、微力ではありますが、支援のお手伝いが出来ればと思っております。

2011 犯罪被害者支援フォーラム

～被害者に必要な支援とは～

VOISSでは、毎年「犯罪被害者週間」の一環として、被害者のおかれている状況を知り、本当に求められる支援を考えるためのフォーラムを開催しています。今年のフォーラムは未解決事件を考えます。下記の概要で開催します。入場無料でどなたでもご入場いただけますのでぜひご参加ください。（詳細は同封のチラシをご参照ください）

日時：平成23年11月13日（日） 13:30～17:00

会場：メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫町藤木 1006-1）

○絵本朗読 入江 杏さん他3人による朗読 絵本『スーホの白い馬』

○第1部講演 入江 杏さん 「悼む心がいのちを繋ぐ」

○第2部トークセッション 「未解決事件をめぐって」

入江 杏さん（世田谷事件被害者遺族）

川崎 政宏さん（弁護士、おかやま犯罪被害者サポートファミリーズ理事長）

藤林 武史（精神科医、被害者支援ネットワーク佐賀VOISS理事長）

入江 杏さん本紹介

この悲しみの意味を知ることができるなら

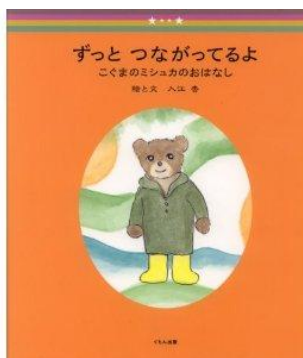
世田谷事件・喪失と再生の物語

入江 杏 著 春秋社

ある日突然 隣家に住む最愛の妹一家を奪われ
平凡だがあたたかな暮らしを一夜にして失った女性
事件直後の悪夢の日々 そして
立ち直りを模索しつづけた 家族の道のり



メディアを通してしばしば興味本位で語られる生と死の物語を目にすると、胸が痛んでなりません。その物語の主やその生の実感を共有していたご家族にとって、大切な人を喪った悲しみがどんなに痛く、苦しく、すさまじいことだったか。喪失の物語は、時に絶句しながらも、生身の痛みに共感しつつ、ただ涙して語られ、聴かれ、読まれるのが本来のありかたなのではないでしょうか？この本もそうあってほしいと願っています。（あとがきより引用）



ずっと つながっているよ

こぐまのミシュカのおはなし

絵と文 入江 杏

くもん出版

悲しみからの再生。目にはもう見えないけれど、でも思いはずっとずっとつながっているよと呼びかける、やさしくそして美しい鎮魂歌です。

全国犯罪被害者支援フォーラム2011及び秋期全国研修会の開催

平成23年9月30日（金）東京商工会議所東商ホールにおいて、犯罪被害者支援20年・犯罪被害給付制度及び救援基金30年、そして、第二次犯罪被害者等基本計画がスタートするという節目の年を記念し、認定特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク、公益財団法人犯罪被害救援基金、日本被害者学会及び警察庁の主催で「犯罪被害者支援の過去・現在・未来」をテーマとした記念フォーラムが開催されました。

また、フォーラムに引き続き、10月1日と2日の両日は、東日本大震災における支援団体の対応についての報告や、性被害、少年事件等における支援の在り方などを中心に秋期全国研修会が開催され、佐賀VOISSからは、相談支援員の高森、サポーターの石橋が参加しました。



犯罪被害者支援出前講座（佐賀市）平成23年9月29日（木）佐賀県母子福祉センター

「コミュニティでできる 犯罪被害者支援のはじまり」

～社会全体で被害者を支えるまちづくり市民講座～

今回の講座は、テーマを「高速バスジャック事件10年を経て」とし、1部では、塚本さんがお母様の突然の死に対する動揺や、事件により家族の絆が切れかかったことなど、10年間をとお話ししていただきました。また、山口さんは、被害者（当事者）として、加害者に対する思いを含め心境をお話ししていただきました。

田口副理事長は、高速バスジャック事件とボイスの発足が同じ時期であったことから、当時のことと被害者支援について話されました。

2部では、塚本さん、山口さん、田口副理事長に加え藤林理事長が参加して、トークセッションで会場の質問等に答えていただきました。参加者は140名を超え多くの感想をいただきましたのでその一部を紹介します。



- ・それぞれの立場から生の声を聴けてよかった。
 - ・つらい大変な経験などのお話ありがとうございました。
 - ・被害者の心理がよくわかった
 - ・「何か出来ることはありませんか?」「何かお困りではないですか?」の言葉・態度が重要と感じた。
 - ・VOISSの支援はなくてはならない活動と感じた。
 - ・VOISS活動が理解できた。
- などでした。

平成23年度サポーター養成講座（初級）カリキュラム紹介

講座開講 時:09~17:00

		初級講座 テーマ		
開催月日	場 所	前半 13:00~15:00	後半 15:00~17:00	
1	6月29日(水) 市立図書館 アバンセ 第4研修室	【開講式】 オリエンテーション	【被害者を支援するための制度】 I VOISS の活動 VOISS 谷川弘幸副理事長	
2	7月13日(水) アバンセ 第4研修室	【被害者を支援するための制度】 基本的な法律と制度 小畑法律事務所 小畑雄一郎弁護士	司法の役割 佐賀地方検察庁 石井広太郎検事・園田隆利相談員	
3	7月27日(水) アバンセ 第4研修室	【被害者の理解】 交通犯罪被害者の現状・支援 県警察被害者支援室 原田弘道室長	性暴力・ストーカー被害 九州産業大学 森川友子准教授	
4	8月10日(水) アバンセ 第1研修室	【被害者への支援 I】 団体として提供するサービス 福岡犯罪被害者支援センター 芦塚増美理事	被害者に与える影響の深刻さ 大阪被害者支援アドボカシーセンター 楠本節子事務局長	
5	8月24日(水) アバンセ 第3研修室 A	【被害者への支援 II】 日常生活支援の方法・社会資源の活用 武庫川女子大学 大岡由佳講師		
6	9月7日(水) アバンセ 美術工芸室	【被害者への支援 III】 直接的支援の方法・直接的支援の課題 くまもと被害者支援センター 高橋久代さん かごしま犯罪被害者支援センター 松田千恵美さん		
7	9月21日(水) アバンセ 第3研修室 A	【被害者への支援 IV】 自助グループ 遺族 古川誠さん	自助グループの意義と目的 VOISS 高森・山崎	
8	10月5日(水) アバンセ 第3研修室 A	【支援者の自己理解】 支援者自身のストレスマネジメント・自分に気づく演習 VOISS 田口香津子副理事長		
9	10月19日(水) アバンセ 第3研修室 A	【被害者への支援 V】 基本的なスキル・ロールプレイ 臨床心理士 高松真理さん		
10	11月13日(日) 公開講座 メートプラザ 多目的ホール	犯罪被害者支援フォーラム 入江杏さん 川崎政宏さん		
11	12月7日(水) アバンセ 第3研修室 A	【被害者への支援 VI】 基本的なスキル・ロールプレイ VOISS 伊藤紀子理事		
12	1月18日(水) アバンセ 第3研修室 A	【支援者の自己理解】 支援者の倫理 全国被害者支援ネットワーク 曾我喜美子さん	閉講式	

佐賀犯罪被害者・交通犯罪被害者遺族の会 自助グループ

「一步の会」

三月の東日本震災から始まり、このところ台風による豪雨、土砂崩れ、洪水等…自然の猛威に為す術もなく私たち人間は啞然とさせられるだけです。それでも時折吹く風で着実に季節が巡っているのを感じます。

知り合いから白い彼岸花を頂きました。いつもこの花を見る度に感心することは土の中からいつのまにか顔を出し、さりげなく時を教えてくれること。

楚々としたこの花を仏壇に供え「そちらはどんな具合？」と語りかけ、今日一日平穏無事に過ごせますようにと祈りました。

一步の会活動報告

8月

22日(月) 自動車運転過失致死 第3回公判傍聴

9月

2日(金) 福岡少年院

3日(土) 一步の会 定例会

21日(水) 佐賀VOISSサポーター養成講座講話

10月

3日(月) 自動車運転過失致死 第4回傍聴

18日(火) 佐賀県警察学校 被害遺族の講話



平成23年度VOISS会員ご入会のお礼

H23. 8. 1～H23. 10. 31 迄に入会の方です
ご協力ありがとうございました

○【正会員】(順不同)

末澤洋、黒田弘、松尾正博、小森利信、中原利明、陣内秀紹、井上義紀、平川敏幸、山崎直文、福田潤、鶴田俊己、篠原和広、中島昭博、樋口勝馬、本村勝則、百武正隆、山田博文、岩永豊、大槻光彦、中島勇、大井手広敏、原貴康、井上浩陸、香月幸太郎、山田鎌司、杵島良綱、片淵淳、林田明弘、田中伸幸、川副哲也、山口正芳、高添運司、田口香津子、谷川弘幸、藤林武史、新田勝弥、橋本高宏、大和幸四郎、江越正嘉、江口八重美、立石晃一、二村猛、力久尚子、古川誠、後藤晶子、他1人。

○【賛助団体】(順不同) 38口

監察課、少年課、生活環境課、刑事企画課、捜査第二課、組織犯罪対策課、交通規制課、運転免許課(2口)、高速道路交通警察隊、警備第一課、機動隊、警察学校、諸富警察署、神埼警察署、鳥栖警察署(刑事第一課)、小城警察署(2口)、唐津警察署(10口)、伊万里警察署、武雄警察署、鹿島警察署(8口)、(有)三協広告社。

○【賛助会員】(順不同)

佐賀県警察賛助個人会員(166人)、梅山ひさの、江里口秀次、半田望、福島直也、諸隈博子、山崎万里子、甲斐直美、くりやま花店、吉木清子、他1人。

○【県警寄付】(順不同)

警務課、厚生課、捜査第一課、科学捜査研究所員(15人)、鑑識課、佐賀署警務課、佐賀署留置管理課、佐賀署会計課、佐賀署刑事第一課、佐賀署刑事第二課、佐賀署交通第一課、佐賀署交通第二課、佐賀署警備課、佐賀署生活安全課、佐賀署地域課、白石警察署員(9人)、鹿島警察署。

平成23年度8月～10月 被害者支援相談件数報告

活動内容		殺人	傷害	性犯罪	DV	児童虐待	その他	計
相談活動	電話相談	26	9	14	24	10	54	137
	電子メール相談	2	0	10	0	0	1	13
	面接相談	2	0	5	1	1	1	10
小計		30	9	29	25	11	56	160
直接支援	裁判傍聴付添い	0	0	2	0	0	0	2
	他機関付添い	0	0	1	0	0	0	1
	病院付添い	0	0	0	0	0	0	0
	証明書代理手続き	0	0	0	0	0	0	0
	自助グループ支援	2	0	0	0	0	0	2
	その他	1	0	1	0	0	0	2
小計		3	0	4	0	0	0	7
合計		33	9	33	25	11	56	167

平成23年10月25日現在

2011年度 第3回児童虐待防止専門化講座のお知らせ

VOISSでは地域での虐待予防、早期発見を目指し佐賀市の委託をうけ児童虐待防止専門化講座を、年4回開催しています。

今年度、第3回目の講座は下記の概要で開催いたします。

講師はNHK児童虐待番組でもご活躍されている西澤哲先生です。

参加無料でどなたでも結構です。ぜひ、ご参加ください。

- 日 時： 平成23年11月11日（金）
14時～16時30分
- 会 場： 佐賀市文化会館 中ホール
- 演 題： 『 虐待がこどものこころに与える影響
～理解と対応～ 』
- 講 師： 西澤 哲さん（山梨県立大学人間福祉学部教授）



【講師紹介】

仙台の情緒障害児短期治療施設勤務時代に「虐待を受けた子ども」とかかわったのをきっかけに心理治療に携われ虐待などでトラウマを受けた子どもの心理臨床活動に取り組まれている。

著書に『子どものトラウマ』（講談社現代新書）、『子どもの虐待』（誠信書房）、『トラウマの臨床心理学』（金剛出版）、訳書にレノア・テア『恐怖に凍てつく叫び』（金剛出版）など。

<VOISS活動報告>

8月

- 1日 育児支援検討会
- 3日 伊万里市出前講座
- 4日 全国共通DVホットライン
- 7日 運営会議
- 8日 筑紫少女苑講演
- 10日 第4回養成講座
- 11日 イオンイエローレシートキャンペーン
- 18日 全国共通DVホットライン
- 19日 裁判傍聴付き添い
- 22日 裁判傍聴
- 23日 佐賀市へ出前講座の広報
- 24日 第5回養成講座
- 25日 命の大切さを学ぶ教室打ち合わせ
- 29日 鹿島市へ出前講座打ち合わせ

9月

- 1日 全国共通DVホットライン
- 2日 命の大切さを学ぶ教室（佐賀工業高校定時制）
- 3日 運営会議
- 7日 第6回養成講座
- 8日 鹿島市出前講座広報
- 10日 コーリング講師
- 12日 鹿島市出前講座広報
- 13日 鹿島市出前講座広報
- 15日 全国共通DVホットライン
- 17日 第2回児童虐待防止専門化講座
- 21日 第7回養成講座
- 24日 スーパービジョン
- 27日 佐賀市出前講座打ち合わせ、
「みどりの風」表敬訪問
- 28日 育児支援検討会
- 29日 佐賀市出前講座
全国共通DVホットライン
- 30日 全国被害者支援ネットワーク フォーラム参加
小城市要保護児童対策地域協議会会議

10月

- 1日～2日 全国被害者支援ネットワーク 秋期研修会参加
- 1日 運営会議
- 5日 第8回養成講座
- 6日 全国共通DVホットライン
フォーラム朗読打ち合わせ会
- 7日 鹿島市出前広報活動
- 10日 イオンイエローレシート贈呈式
- 12日 佐賀市広報活動
- 13日 命の大切さを学ぶ教室（唐津市七山小中学校）
相談面接
- 15日 スーパービジョン
- 18日 警察への付き添い支援、フォーラム広報
- 19日 第9回養成講座
- 20日 全国共通DVホットライン、フォーラム広報
- 21日 鹿島市出前講座、フォーラム広報
佐賀市要保護児童対策地域協議会実務者会議
- 25日 DV総合対策会議、フォーラム広報
第2回理事会
- 26日 フォーラム朗読打ち合わせ会
- 27日 佐賀県、佐賀県警、VOISS広報資料作成
検察庁付き添い、フォーラム広報
- 28日 フォーラム検討会議
- 30日 命の大切さを学ぶ教室（唐津市湊中学校）

イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン報告

10月10日(月) イオンスーパーセンター佐賀店にて贈呈式が行われました。平成23年3月～8月分として17,500円の寄付をいただきました。ありがとうございました。



会員の皆様のご協力をよろしくお願いたします!!

支援自販機設置企業紹介

- ① 佐賀トヨペット (株)
- ② 佐賀女子短期大学
- ③ (有)大町自動車学校
- ④ (株)武雄自動車学校
- ⑤ (有) 虹の松原自動車学校
- ⑥ 篠原宅 (鳥栖)
- ⑦ 川久保自動車教習所
- ⑧ 竹中、松尾、中野、唐津土建
特定建設工事共同企業体
- ⑨ (社)建設業協会佐賀
- ⑩ 弘学館中・高校学校
- ⑪ 東京海上日動ファシリティーズ (株)
九州支店
- ⑫ 三井住友海上火災保険(株)
佐賀支店
- ⑬ こが医療館クリニック
- ⑭ 兵庫北土地区画整理組合
- ⑮ 嘉瀬川リバーサイドゴルフ場
- ⑯ ゆめタウン佐賀
- ⑰ 石丸自動車
- ⑱ 佐賀県CSO自販機他5機
計22機 (設置順)

ご支援ありがとうございます



ボイス
被害者支援ネットワーク佐賀VOISS支援自販機
デザイン案 1



電話相談

TEL 0952-33-2110

月～金曜日 午前10時～午後5時 (土・日・祝日、12/28～1/3を除く)

メール相談

E-mail voiss@f3.dion.ne.jp

～ 会 員 募 集 ～

会員になってVOISSの活動を支えてください。また、寄付も随時受け付けています。

【年会費】 正会員 個人 3,000円 団体 10,000円
賛助会員 個人 1口 2,000円 団体 1口 10,000円

【郵便振替口座】 01740-7-8016

【発行】 特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS

代表 藤 林 武 史

〒849-0925 佐賀市八丁畷町1-20

【事務局】 TEL/FAX (0952) 33-2130

E-mail voiss@f3.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.f3.dion.ne.jp/~voiss/>

